



未来を語れる、街創りをしよう

ビジネスや住まい、オフィス街に住宅街。私たち住友不動産は、人と場所を紡ぐ環境創りが仕事です。そこには、ビジネスでもプライベートでも豊かな未来への展望があるはずです。オフィスビル、マンション、ハウジングをして不動産仲介。私たちは4つの近くで異なるコンテンツをリンクさせながら、未来を語れる街創りをお手伝いしていきます。あなたと未来を語りたい。住友不動産です。

住友不動産

Sumitomo Realty & Development Co., Ltd.



伊藤忠都市開発の「クレヴィア二子玉川」に設置された蓄電池システム。電気自動車用蓄電池を心で利用する。リチウムイオン蓄電池を心で利用する。電気自動車用蓄電池を心で利用する。



こうした不動産各社の高品質なマンション作りは海外からも評価が高い。近年では不動産会社の海外展開も加速している。有望なのは高成長を続けるアジアだ。

アジアへの進出が顕著 高品質なマンション展開

三井不動産は中国・天津の大規模環境都市開発プロジェクト「天津工業城」に参画。日本コシティに参画。日本で培ったさまざまな環境技術を現地マンション開発事業に参入。ホーチミン市で962戸のマンション・商業複合施設に着工したほか、ハノイ市でも4棟のマンションを建設する。5月には上海に駐在事務所を開設し、中国での事業も展開していく。

力強く回復する

環境性能 重要課題に 省エネ技術採用進む

居住者に利便性を提供する商品企画と合わせて重要性を増していくが、マンションの環境性能は家庭部門からの二酸化炭素(CO₂)排出量が増え続ける中、環境に配慮したマンションが提供は各社共通の課題。

太陽光発電システムや断熱性能の高いLOW-Eガラス、電気自動車(EV)用充電器の導入が進んでいる。

三井地所が10年11月に完成した「パークハウス吉祥寺OIKOS」(東京都武蔵野市、総戸数9戸)は環境技術の実験室とも言えるマンションだ。前田建設工業が開発した床下に冷気や暖気を吹き込み放射冷暖房効果を生み出す空調システムを業界初採用したほか、外断熱工法、太陽光発電、太陽熱利用給湯、太陽熱発光ダイオード照明などを

採用。電気自動車(EV)用充電器の導入が進んでいる。

ヤルは12年3月に完成する「パークシティ国分寺」(東京都国分寺市、総戸数33戸)に蓄電池を導入する。三菱重工業が開発した次世代リチウムイオン蓄電池システムを採用。夜間や悪天候時、蓄電池を導入する三菱重工業が開発した次世代リチウムイオン蓄電池を導入する。三菱重工業として運用する。

池搭載マンション「クレ

ヴィア二子玉川」(東京都世田谷区、総戸数51戸)を完成。電気自動車(EV)用充電器の導入が進んでいる。

ヤルは12年3月に完成する「パークシティ国分寺」(東京都国分寺市、総戸数33戸)に蓄電池を導入する。三菱重工業が開発した次世代リチウムイオン蓄電池を採用。夜間や悪天候時、蓄電池を導入する三菱重工業が開発した次世代リチウムイオン蓄電池を導入する。三菱重工業として運用する。

池搭載マンション「クレ



住友不動産の「シティータワー郡山」概要図。マンションと総合病院の一体化を実現し、高齢者層の人気を集めています。



名前は知ってる。だけど、何をしている会社なのか、よく分からぬ…。そこでワタクシ桜庭ななみ、自分の目で三菱地所を確かめてきました! 出会ったのは、みんなをドキドキ、ワクワクさせるものばかり。過去と未来をつなぐ街。やがて子どもたちの「ふるさと」になる場所。新しい何かが始まる予感にあふれた広場… そうか。街をつくることだったんだ! → まずは、webで見に行こう。miniikou.jp

人を、想う力。街を、想う力。三菱地所グループ